

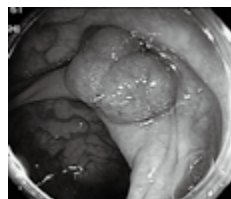


## 内視鏡による日帰り大腸ポリープ切除術

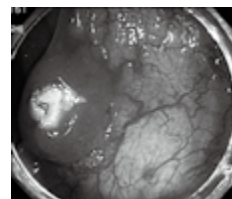
今回は、内視鏡を用いて大腸ポリープを切除する内視鏡下手術について説明します。

### ■大腸ポリープとは？

大腸粘膜から発生する腺腫(良性の腫瘍)で、40歳以上の方の10～15%に見られます。大腸がん発生の有力な原因と考えられ、粘膜に局限した早期がんが発生していてもポリープ切除だけで治ります(写真参照)。



ポリープ除去前



ポリープ除去後

### ■どうやって見つけるか？

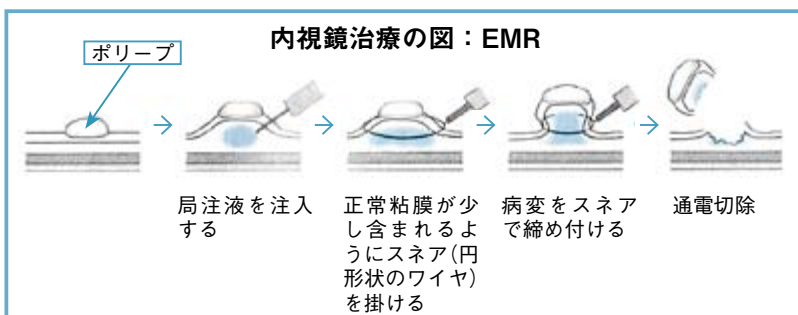
便の潜血検査が手軽です。1,000人が検診を受けると便潜血陽性(便に血が混じっていること)の方が約40人います。この40人が大腸内視鏡検査を受けると進行がんが1人、早期がんが2人いるとされています。しかし大腸がんは進行が遅いので毎年検査していれば手遅れにならないうちに発見されることが多いのです。

### ■なぜポリープ切除が必要か？

ポリープの長さが5mm以下だと早期がん合併率は1%ほど、6～10mmで10%ほど、11～20mmで25%を超え、開腹手術が必要な進行がんも見られるようになります。

現在、大腸がんは女性のがんによる死亡原因の1位、男性では3位を占める恐ろしい病気です。しかし、がん化する前や早期がんのうちにポリープを切除することによってその多くを予防できます。

当院で行っているポリープ切除には、ポリープのみを切除するポリペクトミーと周囲粘膜も含めて切除する粘膜切除(EMR)があります(右図参照)。



切除後は後出血が1%の人に、穿孔が0.1%の人に発生します。再度の内視鏡止血やまれに手術が必要な場合があります。その際は、数日の入院が必要です。

### ■ポリープ切除は入院が必要か？

原則としてポリープを発見したら同時に切除します。入院の必要はありません。ただしポリープが大きい場合や出血の恐れがある場合には一晩入院をすることがあります。

村立東海病院院長 坂本 昌義

## 健診室からのお知らせ

村立東海病院健診室では、「広報とうかい」を通して皆さんに健康診断に関する情報をお知らせしてきました。平成24年度は1月現在で、2,000件を超える健康診断等を実施しています。

私たち村立東海病院健診室では、来年度も引き続き皆さんに、安心・安全で質の高い検査と満足できる健診内容を提供するよう職員一同頑張っていきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

●問い合わせ 村立東海病院健診直通(☎282-2614)

問い合わせ●村立東海病院(☎282-2188)、保健年金課地域医療担当(☎287-0899)